



(2014-15年度 国際ロータリー・テーマ)



弘道館 (水戸市)

心のスタミナ

廣田 誠 (生命保険業)

少し前になりますが、全米オープンテニスで、見事準優勝を果たした、錦織圭選手の活躍を目の当たりにし、感動を覚えるとともに、中学から大学まで続けていたソフトテニス(旧 軟式庭球)に打ち込んでいた日々を思い出しました。錦織選手の長時間戦い続ける強靱な体力とボディバランス、攻守の切り替えの鋭さや判断力。何よりもどのような状況でもあきらめず自分のプレーを貫いた精神力には驚くばかりでした。この躍進が報じられる中で必ず登場するマイケルチャンコーチは錦織選手に何を授けたのでしょうか。私は更なる「心のスタミナ」ではないかと思います。私も中学・高校・大学とソフトテニス部の監督に恵まれ、厳しい指導を受けてきましたが、技術や体力よりも競技に打ち込む姿勢や、学生としての規律、何よりもひたむきに努力することの大切さを教わりました。そうした多くの方との出会いは、知らず内に私達に「心のスタミナ」を与えてく

れていると思います。実は、錦織選手とは、当社が特別協賛する「第一生命全国小学生テニス選手権大会」を通して繋がりがあります。第17回大会から3年連続出場し、第19回大会(2001年小学6年生)で全国小学生ナンバーワンに輝いています。ご本人のブログ(2011年7月)でも長年愛用している大会オリジナルタオルについても触れていただいています。私と錦織選手との縁は会社を通しての強引なものですが、水戸ロータリークラブの一員に籍を置かせていただいているご縁のお陰で、水戸での生活を楽しく過ごさせていただいております。それは、皆さんと単に例会でお会いするだけではなく、親睦活動の中で、笑顔・お酒・旨い物・スポーツ・時には仕事でお世話になることで、多くの「心のスタミナ」を吸収させていただいているからです。どうかこれからも、たくさんの「心のスタミナ」をいただきたく、よろしく願いいたします。

No. 15 2014・10・21

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 豊崎 繁 ■幹事 内藤 学

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>



1. 茨城大学のビジョン

私は、本年9月1日に茨城大学の学長に就任いたしました。その時に、「地域再生の知の拠点となる大学、その中で、世界的な強み・特色が輝く大学」「学生が成長する学生中心の大学」という大学改革のビジョンを掲げました。これらのビジョンを真剣に考えたのは、茨城大学に対する地域からの期待がこれまでになく高まっていると感じたからです。

全国的にみても大学への関心が高まっているのにはいくつか理由があります。まず、我が国の社会がグローバル化や地域の衰退など激しい変化に曝されていることです。今後、人口減少が本格化する中で、持続的に活力を維持するためには、教育によって一人一人の能力を高める必要があります。それに対して、大学生の勉強時間が短く、積極性や主体性に欠けるという指摘がされ、教育の質的転換が必要とされてきました。また、47都道府県全てに国立大学があることから、それぞれの地域で地域の拠点になるべきだという強い期待があります。茨城大学を含めて、国立大学は自らの存在意義として、これらの要請にどう応えるかが大きな課題になっています。

2. 教育改革の方向

私は、茨城大学において育てる学生像を次のように考えています。①広い教養に基づいた俯瞰的な視野、②深い専門性、③人間力（社会人力）をバランスよく身につけた学生です。③は最近とくに強調されているもので、これからのグローバルで複雑な社会を生き抜いて行くには、答の見えない課題に挑戦しそれを解決する意欲・能力や、異分野の人や外国人ともコミュニケーション出来る力が重要になります。

これまでの大学の教育は、座学を中心にした専門分野中心のものでした。一方、社会の課題解決のためには、世界の変化を見通せる広い視

野や社会人力が必要です。そのような力を育てるために、茨城大学の教育を、「教える」から「主体的に学ぶ」教育に変えていこうとしています。

3. 地域と世界に貢献する大学づくり

「地域再生の知の拠点となる大学」のもう一つの柱である研究と社会貢献については、本年4月に「社会連携センター」を立ち上げました。さらに、7月には文部科学省の「大学の地（知）の拠点事業（COC事業）」に選定されました。COCとはCenter of Communityの略です。これらを通して、茨城県、市町村、企業、市民団体などとの連携を一層広げる計画です。例えば、農業分野では、橋本知事のベトナム訪問団（10月）に参加し、今後、茨城県の農業研究及び国際化に協力したいと考えています。また、新装なった茨城大学図書館では「土曜アカデミー」を毎週開催し、地域史講座、ブックカフェ、サイエンスカフェ、学生によるライブ演奏などを通して、地域の皆様に広く大学を開放しています。

学内の優れた研究成果を地域に生かす産官学連携も重視しています。茨城大学には、材料科学や原子科学、気候変動問題、バイオ燃料、霞ヶ浦の環境改善、大震災・放射能災害からの復興支援などの多くの実績があります。これらに基づき、特色ある研究を展開して茨大発の成果を国際的、全国的に発信したいと思います。

国際貢献として重要なもう一つの分野は、教育の国際化です。幸い、昨年「大学の世界展開力事業（AIMSプログラム）」に採択され、インドネシアやタイとの学生相互派遣教育をスタートさせました。短期・長期を問わず、海外での勉学経験は、学生を大きく成長させます。安全面・健康面に注意しつつ、教育・研究の体系的国際化を進めたいと思います。その一環として、農学部で、英語の講義だけで卒業できる国際コースの設置を検討しています。

私は、就任の所信で大学は「社会の公器」と述べました。社会の持続的な発展にとってなくてはならないものという意味です。茨城大学

がこの地域にとってなくてはならない役割を果たせるように、地域社会の皆様の声を聞き、そ

のような大学になるべく努力したいと考えています。

例会報告

10月第3例会

司会 石井(登)委員

◇ ゲスト紹介

茨城大学 学長 三村 信男 氏

◇ 会長の時間

豊崎会長

本日は、茨城大学学長の三村さんに卓話をいただきました、ご本人のスケジュールの関係で一部例会のプログラムが変更となりましたことお詫び申し上げます。久しぶりの卓話となりましたが、いかがでしたでしょうか。茨城大学が9月より三村氏を新学長に迎え茨城大学の今後の方向性など有意義なお話を伺うことができました。もう少し米山奨学金についてのお話があればと思いましたが、また機会があれば伺いたいと思います。以上、簡単ではございますが会長の挨拶に代えさせていただきます。本日はありがとうございました。

◇ 出席報告

内藤幹事

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
117名	66名	51名	61.68%

前週訂正出席率 79.09%

前々週訂正出席率 82.61%

◇ 会員メイクアップ

10/17 東京米山REC2750 秋山 現信

10/20 水戸さくらRC 横須賀満夫

砂押 憲正

◇ にこにこBOX

和田副委員長

豊崎(繁)会員……三村学長のお話はいかがだったでしょう？小泉米山奨学委員長にお礼申し上げます。

豊崎(一)会員……誕生祝いありがとうございます。

宮田会員……42歳誕生日のお祝いありがとうございました。

湯原会員……妻の誕生日にお花を頂きました。ありがとうございました。おかげで私も、思い出すことが出来ました。

本日の合計	4件	25,000円
10月の合計	30件	185,000円
累計	198件	1,201,000円

◇ 米山BOX

茨城大学 学長

三村 信男 氏……準米山功労者献金

(第1回) 20,000円

(累計 20,000円)

井上 壽博会員……米山功労者献金

(第6回) 10,000円

(累計 660,000円)

高沢 彰会員……米山功労者献金

(第10回) 10,000円

(累計 300,000円)

内藤 学会員……米山功労者献金

(第3回) 10,000円

(累計 130,000円)

安 圭一会員……準米山功労者献金

(第7回) 10,000円

(累計 70,000円)

小池 邦彦会員……準米山功労者献金

(第5回) 10,000円

(累計 50,000円)

山口 政美会員……準米山功労者献金

(第1回) 10,000円

(累計 10,000円)

この計	7件	80,000円
-----	----	---------

◇ 幹事報告

内藤幹事

1. 2014年度の指名委員会7名の委員が決まり、本日、委員会が開催されました。

◎委員長 豊崎 繁

- ◎副委員長 八文字典昭
◎委員 石島 弘之、大久保博之、
小林大次郎、内田 浩司、
内藤 学

[指名委員会]

とき 10月21日(火) 12:00
ところ 例会場
議題 2015~16年度役員・理事の推薦
について

2. 歴代会長会が開催されます。元会長の方々
のご出席をお願い致します。

とき 10月21日(火) 13:40
ところ 例会場
議題 クラブ運営について、その他

3. 11月定例理事会が開かれます。役員・理
事のご出席をお願いいたします。

とき 11月4日(火) 11:30
ところ 例会場
議題 1) 2015~2016年度役員・理事
(案)について
2) 年次総会開催日について
3) 新年家族会について
4) 11月・12月例会プログラム
について
5) 会計報告
6) その他



会員の広場

『運動の勧め』

村田 実 (総合病院)

有って欲しくないものは、山頂まで一
気に連れて行ってくれる乗り物とゴルフ
場の乗用カートと知っているくらいです
ので、余程の事情がない限り利用しない
ことにしています。汗をかいてこそその楽
しみとありますが、多くの現代人は
大いなる楽しみを得るまでの苦行の過程
は無駄と知っているようです。

車社会にあって健康のために自分の足
と公共の乗り物を使いましょうと言っても、
分かりましたと生活習慣を変えてくれる
人はまずいません。車を停めるにしても
最短の歩行距離で済む場所を必死に探す
くらいですので無理と言うものかもしれ
ません。

江戸時代にはほとんどの人間にとって
移動手段は徒歩しかありませんでした。日
々の生活において10kmぐらいい一寸の距
離で女子供でも全く苦しなかったよう
です。

確かに生活が便利であるに越したこと
はありませんが、こと健康体を維持する
視点からは便利すぎるのもいかななもの
かと思ってしまうます。文明の力で頭でっ
かちになれるかも知れませんが、所詮人
は動物ですので適度に動くことが必要です。

ロータリー会員の皆様、楽をしたいと
いう悲しい性を克服して幾つまでも活力
に満ちた健康体でいてください。



週報担当 宮田 武範 副委員長

例会予告

11月 4日 (火)
卓話「ロータリー財団を知ろう」
照沼 重輝 ロータリー財団委員長

11月11日 (火)
卓話「水戸の心、世界遺産へ」
水戸弘道館 学芸員 小坪のり子氏